

4年間の学び

医療検査学科では、実践的な学びにより臨床検査のスキルを磨き、
全員が臨床検査技師国家試験の合格を目指します。



臨床検査技師を目指す三嶋さんの時間割

[2年 1学期]

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1限 9:00-10:30	医学英語	臨床医学総論Ⅰ			病態生理学Ⅱ
2限 10:40-12:10	遺伝子・染色体検査学実習	データサイエンス基礎Ⅰ	Point 2 病理検査学	臨床化学検査学Ⅱ	Point 3 微生物検査学
3限 13:00-14:30	Point 1 応用選択入門	生理検査学実習	肉眼解剖学実習	病理検査学実習	臨床化学検査学実習
4限 14:40-16:10	画像検査学Ⅰ				
5限 16:20-17:50	課題の自習		課題の自習		課題の自習

Point 1 専任教員の研究内容を知り、自分の興味のある分野を見つけます。

Point 2 病理診断や細胞診に必要な標本作製の技術を学びます。

Point 3 感染症の原因となる細菌やウイルスを特定するための検査技術を学びます。

医療検査学科 2年 三嶋 結名さん
[福岡県 城南高等学校出身]

大学病院での実習が充実しているのが
本学の魅力！



1年次

基礎教育科目と専門基礎科目、社会人としての教養を学びます。

基礎共通科目	人間と生活・社会の理解	キャリア入門 健康・スポーツ科学英語(リーディング)
	科学的思考の基礎	学びの基本Ⅰ 学びの基本Ⅱ

専門基礎科目	生命科学・検査原理の基礎	化学 物理学 細菌学 生物学 検査機器総論 医用工学概論
	人体の構造と機能	免疫学 生化学 生理学 組織解剖学 肉眼解剖学
	保健医療福祉とデータの取り扱い	統計学 公衆衛生学Ⅰ マネジメントサイエンス基礎Ⅰ

2年次

各領域の専門家が指導する講義と実習を通じて基礎をさらに磨き、臨床検査を理解するために必要な医学・医療の基礎知識を固めます。

専門科目の基礎を実践的に学ぶ

専門科目を本格的に学ぶ2年次では講義と演習・実習を効果的に組み合わせることで、座学で学んだ知識をより深く理解し、実践的なスキルを身に付けます。



医用工学概論実習
バイオサイエンス基礎

肉眼解剖学実習

公衆衛生学Ⅱ データサイエンス基礎Ⅰ
マネジメントサイエンス基礎Ⅱ 保健医療情報学

3年次

応用選択コースでは検体検査と生理学的検査の中から選択した分野について継続的なトレーニングと研究活動を体験し、専門性を学びます。

関係法規 データサイエンス基礎Ⅱ

4年次

久留米大学病院・地域臨地実習施設と連携して臨地実習を行います。卒業後を見据えて臨床検査とチーム医療を実践的に学びます。

実習できる病院を九州各地に。
臨床検査とチーム医療を実践的に学びます。

講義や演習で修得した基礎的な力を活かして実践力を身に付ける「臨地実習」。久留米大学病院をはじめ、九州各地に実習先病院を確保している
ので、出身地の病院等を希望することも可能です。



専門科目	病態・病理と疾病	病理学Ⅰ 病態生理学Ⅰ	病理学Ⅱ 病態生理学Ⅱ 血液学 臨床医学総論Ⅰ	臨床医学総論Ⅱ 臨床栄養学 睡眠医学 生理検査学Ⅱ 薬理学 臨床病理検討会	臨地実習前到達度評価 臨地実習
	臨床検査学の基本	臨床化学検査学Ⅰ 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 免疫学実習 微生物検査学実習Ⅰ	医学英語 臨床化学検査学Ⅱ 臨床化学検査学実習 病理検査学 病理検査学実習 血液検査学 血液検査学実習 微生物検査学 遺伝子・染色体検査学 遺伝子・染色体検査学実習 微生物検査学実習Ⅱ 生理検査学Ⅰ 生理検査学実習 画像検査学Ⅰ	RI検査学 一般検査学 一般検査学実習 画像検査学Ⅱ 輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習 免疫検査学	
	チーム医療と臨床検査学の実践に向けて	薬品管理学		検査管理総論 医療安全管理学 医療安全・検体採取実習 ゲノム医療・先端医学	チーム医療演習 臨床検査医学特論
	応用選択コース		応用選択コース入門	PICK UP 4コース12分野から1つを選びます。 マネジメント応用 データ応用 バイオ応用 臨床検査応用	卒業研究

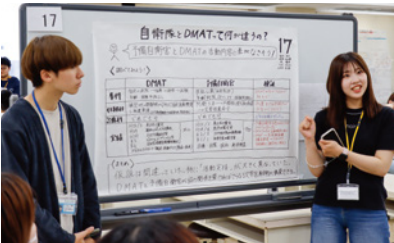
※2025年入学の学生のカリキュラムです。カリキュラムは変更になる可能性があります。

PICK UP カリキュラム



統計学

データサイエンスやAIのベースには統計学があります。基礎の座学、統計ソフトウェアを使ったデータ解析実習を通じて、知識と実践のバランスのとれた講義を行っています。



学びの基本Ⅰ

入学後すぐに始まり、医療検査学科そして医学科の新入生達とグループ活動を行い多くの仲間を作ります。ともに課題に取り組みながら、大学生としての学び方を身に付けます。



微生物検査学実習

検体検査や生理学的検査など多彩な実習に多くの時間を割き、経験豊富な講師陣の指導のもと、学生が実践的な技術と知識をしっかりと学べるよう工夫しています。



診療情報管理士

医療機関の診療情報を収集・管理し、分析や加工を通じて、医療安全や病院運営など、多様なニーズに応じた情報を提供する専門職です。診療情報の適切な管理と活用に求められる高度なスキルを備え、高度化する医療の発展に貢献します。

PICK UP [3年次専門科目] 応用選択コース

応用選択コース

4コース12分野から自らが興味を持った1つのコースを選び、じっくり学び、研究活動を行い、4年次に成果を発表します。

● マネジメントサイエンスコース

診療情報の適切な管理と分析は、医療の質向上や病院運営の改善に大切です。「マネジメントサイエンス」では、診療情報の知識と活用法を学びます。病院実習では、医療現場における診療情報の取り扱いや活用方法を知り、実践的なスキルを養います。

● バイオサイエンスコース

臨床検査の知識と技術は、細胞、遺伝子、タンパク質に関する基礎研究にも活用できます。「バイオサイエンス」では、実験を主体とした研究活動を通じて、実験スキル、科学的思考力、プレゼンテーション力を養います。

医療検査学科 2年 江口 未祐さん [鹿児島県 尚志館高等学校出身]

